

【今澤議員：一般質問】

昭和町高齢者移動手段確保事業実証実験の結果と今後の方針について

本町では、令和7年7月1日から9月30日の3か月間、日常生活において高齢者の「買い物」や「通院」など、目的地までの移動手段の確保、また、自動車運転の操作ミスによる重大な事故を防ぐため、及び免許返納の促進などを目的とした「高齢者移動手段確保事業」として、利用者の条件を設け、タクシーの初乗り運賃600円を助成する実証実験を実施し、地域の交通課題の把握と、新たな移動支援のあり方を検討してきました。

この実証の結果について、利用者からの評価、課題など、どのようなニーズ把握や意見、また、採算性などを確認されたのか、また、今後の本格運用に向けた方針についてお聞きます。

## 【答弁】

高齢者の移動手段の確保につきましては、買い物や通院など日常生活を自立して営む上で重要な課題であります。

本事業は、高齢化が進む中、通院や買い物といった日常生活において安心して移動できる環境を整えることに加え、高齢者による運転事故の防止にも寄与することを目的として、移動手段の確保のあり方を検証するために実施いたしました。

今回の実証実験では、タクシー利用助成方式を用いて、高齢者の移動ニーズ及び効果を検証し、実際の利用状況や利用者の皆様のご意見を通じて、移動手段の確保の必要性や運用上の課題を具体的に把握することができました。

また、利用者アンケートの結果、「買い物は荷物が多いので助かる」、「だんだん動けなくなり、病院へ行けなくなるのでとても助かる」などのご意見をいただきており、本事業が高齢者の移動手段を確保する取り組みとして、一定の需要があることが改めて確認されました。

一方で、予約が集中する時間帯には待ち時間が発生するなど、運行効率の改善等が課題として挙げられました。また、費用面では、恒常的な事業にする場合、ふるさと納税や県等の補助制度の活用を含め、必要な財源確保策を検討してまいります。

以上のとおり、本実証実験を通じて、高齢者移動手段の確保の必要性と一定の

効果が確認できたと認識しております。

今後につきましては、令和8年度からの本格運用を見据え、実証実験で得られたデータを基に、運行方式、対象地域、費用負担の在り方などを精査し、持続可能な運行モデルの構築に向け、町民ニーズを踏まえながら検討を進め、高齢者の皆様が安心して暮らし続けられるまちづくりを推進してまいります。